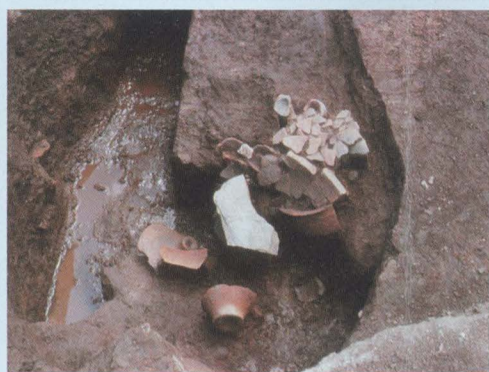


久留米市指定文化財
ひがしくしはらいまでら いせき
東柳原今寺遺跡



弥生時代の集落と墓域を中心とした遺跡です。前期の竪穴住居や、中期の甕棺墓などが発見されました。

国指定文化財
たかやまひこく ろうのはか
高山彦九郎墓



蒲生君平、林子平と並ぶ寛政の三奇人と言われた、江戸時代の勤王家です。1793年6月27日、世をはかなんで自害しました。

国指定文化財
公益財団法人 石橋財団石橋美術館・石橋美術館別館の指定文化財

【絹本淡彩四季山水図】

室町時代の画僧である雪舟は、日本水墨画の確立に大きな影響を与えました。この絵は明からの帰国後に描かれたものと思われます。

【紙本墨画禅機図断簡】

中国元代の画僧因陀羅作。唐代の禅僧丹霞にまつわる話を描いたものです。

【古今和歌集卷第一断簡】

現存する最古の写本です。桜にちなんだ和歌が書かれています。

【飛青磁花瓶】

中国龍泉窯系の青磁。釉下に散らされた鉄斑文が特徴です。

【天平の面影】

藤島武二の初期の作品。明治浪漫主義作家の青木繁に大きな影響を与えたといわれています。

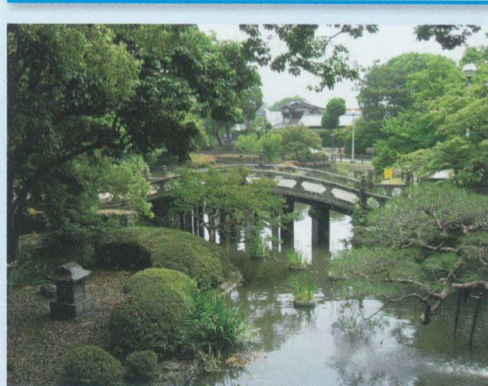
【海の幸】

明治の代表的日本洋画家青木繁による、海シリーズの中でも代表的作品。大胆な構想と画技で表現された作品です。

【わだつみのいろこの宮】

同じく青木繁の作品。文豪夏目漱石に高く評価されました。

久留米市指定文化財
こくじんしゃ いしばし
五穀神社の石橋



久留米藩7代藩主有馬頼隆によって作られた、全長12.95mの石橋です。久留米市内では、石浦大橋、高良山御手洗橋に次いで古い橋です。

校区の範囲
埋蔵文化財包蔵地
寺町